

第5・6学年 体育科学習指導案

指導者 T1 ○○ ○○
T2 ○○ ○○
展開場所 体育館

1 単元名 表現運動 ～ わたしたちの地球 ～

2 単元について

(1) 一般的な特性

① 機能的特性

- ・身近な動物や乗り物などの題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりする楽しさに触れることのできる運動である。
- ・心と体を解き放し、イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊ったり、互いの良さを生かし合って仲間と交流して踊ったりする楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

② 構造的特性

- ・仲間とのコミュニケーションが必要な運動である。
- ・自分のイメージや感じたことを自由に表現する探求型の運動である。
- ・自由に動きを工夫して楽しむ創造的な学習を進められる運動である。
- ・ひと流れの動きで即興的に踊ることと簡単なひとまとまりの動きにして踊ることで構成される運動である。

③ 効果的的特性

- ・自分の感じたことを表現したり、リズムに乗って全身で踊ったりすることにより調整力や持久力を高めることができる運動である。
- ・即興的な身体表現能力やリズムに乗って踊る能力、コミュニケーション能力を培うことができる運動である。

(2) 児童から見た特性

- 多感な児童たちの多様な欲求に応じて表現の楽しさを味わうことができる運動である。
- 探求型の活動を通して、仲間と教え合ったり、励まし合ったり共感し合ったりできる運動である。
- △ 自分をさらけ出すことを恥ずかしいと思う児童にとっては、体全体を使って大きな動作をすることが難しい運動である。
- △ 「できた」ことが明確に自覚しづらい運動である。

(3) 児童の実態 (第5学年 男子○名 女○名、第6学年 男子○名 女子○名、計○名)

知識・技能		学年	できた	ややできた	ややできない	できない
	ダンス動画を見て踊ることができたか。(観察)	6年	○名	○名	○名	○名
		5年	○名	○名	○名	○名
	曲に合わせて踊ることができたか。(観察)	6年	○名	○名	○名	○名
		5年	○名	○名	○名	○名
断・考・表・現・判	題材を捉え、ひとまとまりの動きにして表現することができたか。(観察)	6年	メリハリのあるダイナミックな動きをした児童			○名/○名中
		5年	メリハリのあるダイナミックな動きをした児童			○名/○名中
断・考・表・現・判	本時のめあての欄に4つのくずしを踏まえた意見を書いた児童数。(学習カード)	4項目中3つの内容を記入した児童	6年	○名	5年	○名
		4項目中2つの内容を記入した児童	6年	○名	5年	○名
		4項目中1つの内容を記入した児童	6年	○名	5年	○名
		4項目中1つも記入できなかった児童	6年	○名	5年	○名

主体的に学習に取り組む態度	表現運動が好きか。 (学習カード)	6年 やや好き○名、好き○名 5年 ふつう○名、やや好き○名、好き○名
	前単元の終わりに実施したアンケートから「つぎにやってみたいこと」の自由記述より抜粋。 (学習カード)	<6年> ・動きのパターンを増やしたい ・キレのある動きをしたい ・盛んに表現したい ・人と人の距離や速さを工夫したい ・表情を作りたい <5年> ・上下左右の動きを取り入れたい ・足踏みや体全体を使いたい ・みんなで違う動きをしたい ・自分の表現が伝わるようにしたい ・自分のダンスを取り入れたい ・体育館全体を使って表現したい

第5・6学年の児童は令和3年度から表現運動の学習をはじめ、今年度で3年目となる。令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため活動に制限があったものの、令和4年度には現5年生が「忍者参上」、現6年生が「わたしたちの地球」をテーマに表現運動に取り組んだ。今年度は6月に、「春夏秋冬」をテーマに表現運動を行った。6月の発表会から技能面を見てみると、5年生・6年生ともに○名の児童がメリハリのあるダイナミックな動きをすることができている。その他の児童も話し合い活動をもとに、ひとまとまりの動きで楽しく発表することができた。しかし、即興的に表現することに本来の力を発揮できずにいる児童が5年生・6年生ともに○名ずついる。思考面を見てみると、くずしを取り入れて動きを変えようと考えて、めあてを持つことができている児童が5年生で○名、6年生で○名いる。また、「つぎにやってみたいこと」の自由記述から、即興表現に慣れ親しみ、工夫して表現する醍醐味を味わっていることも伺えるので、4つのくずしに関わる言葉かけやイメージカルタを工夫し、より一層表現する喜びを味わわせていきたい。

(4) 指導観

本単元は、学習指導要領「F 表現運動 ア 表現」の「多様な題材」の中から、イメージが広げやすい「わたしたちの地球」を扱う。

これまでの研究と研修により①表現活動を行う際のグループは4名～6名程度が適している。②「はじめ-なか-おわり」の区切りやBGMは、創作を終えた後で添える方が有効である等が分かった。さらに本単元では、児童自身が表現したいテーマを3つから選び、選択した小テーマで集まる友達と創作活動することとした。このことにより、児童が主体となって深い表現にたどりつく喜びを味わわせていきたい。教師側としては、「4つのくずしを意識した言葉かけ」により友達とかかわる楽しさをより一層味わわせることができるように支援していきたい。

児童の実態から、以下のことに留意して指導していきたい。

- ・オリエンテーションを設け、「わたしたちの地球」のイメージマップ作りを行い、作成したマップから小テーマを3つ（「大地」「気象」「生命」）設定して取り組むこととする。
- ・単元の終わりに発表活動を取り入れ、その内容を児童とともにコーディネートすることにより、集団で創りあげる喜びを味わわせる機会とする。
- ・個々の動きのレパートリーを増やすこと、友達の動きに関心をもち、互いのよさを認め合うことを目的に指導過程を工夫する。単元の前半は、3つの小テーマそれぞれについて1時間ずつ表現する時間を設定し、児童全員がすべてのテーマを体験できるようにする。単元の後半は、3つの小テーマから児童が追求したいテーマを選択し、選択した者同士が同じグループとして活動する。
このことにより、①仲間意識の向上を図ること、②「ふかめる」場面の話し合い活動を活発化させること、③グループ間で切磋琢磨する状況を生み出すことができると考えている。
- ・イメージカルタは、①即興意欲や多様な動きが想起できる内容、②4つのくずしを意識できる内容、③グループごとに分かれた際の「はじめ-なか-おわり」の創作活動に役立てる内容とする。
- ・児童の表現の幅を広げるために、4つのくずし*1を意識した言葉かけに努める。その際に、高学年の発達段階を考慮し、児童がイメージから想起した内容を引き出すことができるようにする。

(*1……研究紀要P8「4つのくずしを意識した言葉かけ例」参照)

3 単元の目標

- いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができるようにする。(知識及び技能)
- 自己のグループの課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んだりすることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)
- 表現することに積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ることができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

4 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとまり ごとの評価規準	いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりしようとしている。	自己やグループの課題に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えようとしている。	運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全を確かめたりしている。
単元の 評価規準	①テーマの主な特徴を捉え、表したい感じを言ったり、書いたりしている。 (学習カード) ②テーマの主な特徴を捉え、ひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 (観察) ③テーマの主な特徴を捉え、「はじめ-なか-おわり」の構成を工夫して踊ることができる。 (観察・学習カード)	①テーマの主な特徴を捉えた表現となっているか、グループの仲間や他のグループの動きを見て、課題を見つけて友達に伝えている。 (観察)	①テーマの特徴を捉えたよりよい表現にしようと積極的に取り組もうとしている。 (観察・学習カード) ②互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 (観察・発言) ③場の安全を確かめている。 (観察)

5 指導と評価の計画

時間	1	2	3	4	5	6（本時）	7
0	オリエンテーション ・学習内容の確認	安全の確認・本時のねらい（学習課題）の確認・準備運動（ほぐしの運動）					
10	・「わたしたちの地球」をテーマにイメージマップ作り	「大地」 1. イメージカルタをめくる。 2. 2～3人組のグループを作る。	「気象」 1. イメージカルタをめくる。 2. 2～3人組のグループを作る。	「生命」 1. イメージカルタをめくる。 2. 2～3人組のグループを作る。 3. ひと流れの動きにして即興的に踊りを楽しむ。	「わたしたちの地球」 1. 好きなテーマを選ぶ。 2. グループでひとまとまりの動きを考える。 3. 即興的に思いのままの踊りを楽しむ。	「わたしたちの地球」 1. グループの動きを見せ合う。 2. 互いのよさや課題を見つけ、伝え合う。 3. よりよい動きを楽しむ。	発表会を行う。
20							
30	・イメージカルタの使い方	3. ひと流れの動きにして即興的に踊りを楽しむ。	3. ひと流れの動きにして即興的に踊りを楽しむ。				
40	・学習の進め方						
	振り返り・整理運動・健康観察						
知		①観察・学習カード	②観察	③観察・学習カード			
思					①観察	①観察・学習カード	
態	①観察③観察						②観察・発言

※知…「知識・技能」、思…「思考・判断・表現」、態…「主体的に学習に取り組む態度」

6 本時の指導 (6 / 7)

研究仮説 (1)

他者とかかわる必要性のある場面を意図的に仕組み、互いのよさを認め合ったり、励まし合ったりする活動を取り入れれば、自ら課題を見つけ、課題を解決する児童が育つであろう。

本時は既習の「4つのくずし」や自己や仲間の動きを共有化するためのイメージカルタをもとにして、「はじめ-なか-おわり」をグループで表現していく活動である。同じテーマに興味をもった仲間と創作活動を行うことで、よりよく踊る楽しさや喜びを味わうことができるであろう。

(1) 目標

- 題材の特徴や感じの捉え方を理解しているとともに、それをひとまとまりの動きにしてグループで表現ができるようにする。【知識及び技能】
- ◎ テーマの主な特徴を捉えた練習を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【思考力・判断力・表現力等】

- 運動の行い方の決まりを守り、仲間と励まし合って練習や発表、交流ができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】

(2) 展開

過程	時間	学 習 内 容 と 学 習 活 動	指導・支援 (○)、評価 (☆)	用具・資料
はじめ	5分	1 集合、整列、挨拶をする。 2 ほぐしの運動を行う。 曲名：やってみよう (WANIMA)	○ 体全体を使って自由に踊ることができるようにする。また、恥ずかしさや心を解放して楽しく表現活動できるように、曲や音量、場所、雰囲気配慮しながら教師も一緒に踊る。(T 1・T 2)	・CD ・スピーカー ・マイク
なか	35分	3 本時の目標を確認する。 表したいイメージが強調されるように、ひとまとまりの動きをつくり、みんなで楽しく踊ろう。 4 グループごとに「ひとまとまりの動き」を確認する。 5 グループごとにひとまとまりの動きを紹介し、アドバイスを発表し合う。 ○ 今ここで感じた発想を手がかりに動きを広げたり、アドバイスしたりする。 ・○○のくずしがよいと思う。 ・○○した方がイメージが伝わりやすいと思う。 6 各グループに分かれて、アドバイスをもとに、改善する。 ○「ひと流れの動き」をふくらませて考える。 ○「はじめ-なか-おわり」それぞれについて工夫する点を話し合い、共有ボードに書き加える。 ○ 改善点を試しに動いたり、見あったりして、理解しあう。 ・一番盛り上げたい場面の動きを○○にしたい。 ○ 4つのくずしに留意して、動きを工夫する。	○ 前時までに積み上げてきた掲示物やイメージカルタをもとに、本時のねらいを確認できるようにする。(T 1) ・4つのくずしが書かれた掲示物 ○ 児童が主体となって話し合いを進められるよう児童の思いを引き出す。(T 1・T 2) ○ 各グループの練習風景を定点カメラで撮影し、必要があれば視聴し、よりよい話し合い活動ができるように見守る。(T 2) ○ 他のグループのよい点や改善点を発表した児童を称賛したり、実際に表現させたりする。(T 1) ☆ テーマの主な特徴を捉えた練習を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【観察・学習カード】 ○ 即興的に踊ることができないでいる児童に「4つのくずしを意識した言葉かけ例」*1を参考に助言する。 ○ 各テーマから動きを予測して助言し、児童の「よい動き」(技能面、情意面、かわり合い方を意識した言葉かけ)を引き出していけるようにする。(T 1・T 2) ○ グループの人数や児童の構成により、活発な活動となっているか観察し、必要な支援にあたる。 (T 1：主に全体、T 2：支援が必要なグループについて見守る。) ○ 話し合いの成果や集団表現のよさ、個の成長を見つけ、称賛し、自己有用感や達成感を味わわせる。(T 1・T 2)	・学習カード ・掲示物 ・イメージカルタ ・共有ボード

		7 新しく身につけた動きを総踊りし、学習のまとめをする。 ○ 感じを込めてなりきって踊る。 ○ 気持ちも途切れずに踊る。	○ 話し合いで身につけた動きを活かした総踊りになるよう見守る。(T 1・T 2)	
まとめ	5分	8 本時の振り返りを行う。 ○ 新しく身につけた踊りを踊って、みんなで楽しく踊れたかを振り返りを学習カードに記入する。 9 次時の活動内容とねらいを確認する。	○ 「今日のMVP」を発表させ、みんなとかかわり合うことの大切さを確認する。(T 1) ○ けがをしていないか確認をする。(T 1) ○ 次時の学習内容を伝え、意欲の向上を図る。(T 1)	・学習カード

* 1 ……本冊子 添付資料集 P 9 「4つのくずしを意識した言葉かけ例」参照